

## **ダカールラリー2024 に参戦 ～通算 30 回目の挑戦、市販車部門 11 連覇に挑む～**

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：松尾 勝博）のラリーチーム、チームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2024年1月5日から1月19日までサウジアラビアを舞台に開催されるダカールラリー2024に参戦し、市販車部門11連覇に挑みます。

ダカールラリーには、TLCの前身となるトヨタ・チームアラコが1995年に初参戦し、2024年大会で通算30回目の参戦となります。その間一貫して、ランドクルーザーシリーズで市販車部門優勝に挑み続け、クルマを鍛えてきました。「どこへでも行き、生きて帰ってこられるクルマ」として、ランドクルーザーシリーズのDNAである悪路走破性、信頼性、耐久性を鍛え上げることが、ダカールラリー市販車部門に挑戦し続ける意義であり、チームのミッションです。今大会においても、ランドクルーザー300 GR SPORTをベースとするラリー仕様車2台で参戦し、全ステージ完全走破による11連覇とともに、未来のもっといいランクルづくりに挑戦し続けてまいります。

2023年大会は初めてランドクルーザー300 GR SPORTを投入し、高い走破性を発揮できたものの、数多くの困難にも直面しました。この経験を、市販車開発を担当するトヨタ自動車株式会社や協力メーカー様と共有するとともに、万全の開発体制でラリー車開発を進めてきました。2024年大会でのTLCの走りに是非、ご期待ください。

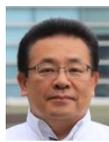


# 1. ダカールラリー2024 参戦体制

ランドクルーザー300 GR SPORT 2台体制でのエントリー

## 【チームメンバープロフィール】

年齢は2023年10月5日時点

体制	氏名	年齢	備考
チーム代表	ホンダ アツシ 本多 篤 	57	トヨタ車体(株)コーポレート本部 領域長 2021年4月、チーム代表に就任。 感謝とチームの和を大切に、ダカールラリー参戦活動を通してもっといいランクルづくりを目指す。
チーム監督	カタニ ムツシ 角谷 裕司 	49	トヨタ車体(株)広報室 2014年チーム監督に就任。2023年大会でチームを市販車部門10連覇に導いた。
1号車	ドライバー ミウラ アキラ 三浦 昂 	40	トヨタ車体(株)広報室 2007年、社員ナビに選抜され、チーム入り。 2016年大会よりドライバーに転向。開発ドライバーとしてランドクルーザーシリーズの開発にも関わる。
	ナビゲーター マイヨール・バルベ  <b>新</b>	43	TLC 契約ナビゲーター 2023年9月にTLCに新加入。2024年大会がTLCとして初のダカールラリー参戦となる。
2号車	ドライバー ロナルド・バソ 	41	TLC 契約ドライバー 2021年大会よりTLCで参戦。ラリーに加え、サーキットレースドライバーとしてもモータースポーツ活動に参加。 2023年大会市販車部門優勝ドライバー。
	ナビゲーター ジャン・ミッシェル・ポラト 	52	TLC 契約ナビゲーター 2021年大会よりバソとのコンビでTLCよりダカールラリー参戦。長いナビゲーター経験で培った高い情報収集力を武器にチームに勝利に貢献。
チームメカニック 兼エンジニア	フィリップ・シャロ  <b>新</b>	68	TLC 契約メカニック 1995年のチーム発足以来、メカニック陣をまとめあげてきたチームメカニック。またエンジニアとしてTLCのラリー車開発をけん引。
日本人メカニック	イトウ イサム 伊藤 勇 	30	福岡トヨタ自動車(株)メカニック 2022年4月よりチームに参加。以後海外テスト、モロッコラリーで経験を積み、2023年大会でデビュー。 2024年大会はバソ/ポラト組を担当。
	タガミ フミコ 谷上 文彦  <b>新</b>	31	福岡トヨタ自動車(株)メカニック 2023年4月よりチームに参加。2024年大会がダカールラリーデビュー戦となる。三浦/バルベ組を担当。

◆その他、フランス人メカニック、スタッフを含む計22名体制で参戦

## 2.ダカールラリー2024 参戦車両(ランドクルーザー300 GR SPORT)

2024 年大会仕様車は、2023 年大会参戦車両をベースに悪路走破性を維持したまま、信頼性・耐久性を向上させた車両です。主な改良ポイントはエンジン吸気系とリアサスペンションの見直しとなります。吸気系においては、装着が義務付けられる各車両の排気量に合わせた吸気量制限パーツであるリストラクター(市販車の吸気システムとは異なるラリー専用品)の取り付け方法を改善し、砂等の異物混入を防ぐことでターボの信頼性を高めました。リアサスペンションにおいては、ショックアブソーバー(BOS 製ラリー専用品)のレイアウトを車両規則の許す範囲内で変更し、路面追従性を犠牲にすることなく、アブソーバーにかかる負荷を軽減することで耐久性を向上させました。

また、サスペンションに最適化するようタイヤ(TOYOTIRES OPEN COUNTRY M/T-R) にも改良を加え、剛性アップによる耐パンク性の向上と軽量化による加速性能の向上を実現しています。



### 【ランドクルーザー300 GR SPORT ダカールラリー2024 仕様車スペック】

項目	スペック内容
ベース車両型式	FJA300L
エンジン型式	F33A-FTV 型
総排気量	3,345cc
全長 / 全幅 / 全高	4,965mm/1,990mm/1,975mm (車高は上げているため市販車と変わります)
最高出力	253kw 以上 (344ps 以上)
最大トルク	815N・m 以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング (BOS 製) 後/トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (BOS 製)
ショックアブソーバー	ラリー専用ショックアブソーバー (BOS 製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (ブレーキパッドのみ: エンドレス製)
トランスミッション	Direct Shift-10AT (電子制御 10 速オートマチック) *1
タイヤサイズ	285/70R17 (TOYOTIRES 製 OPEN COUNTRY M/T-R) *2
ホイール	マグネシウム鍛造 17 インチ×7.5J (ENKEI 製)
駆動方式	4 輪駆動 (フルタイム 4 WD)
主要装備	電動デフロック (フロント、センター、リア) E-KDSS *3

\*1) 車両規則に基づくラリー専用制御にて、1 速から 8 速(後進シフト有り)までのマニュアルモードで操作

\*2) OPEN COUNTRY M/T-R 2023 スペックをベースに、ケース構造の改良と浅溝化により、剛性アップと軽量化を実現。また、構成部材には環境に優しいサステナブル素材(使用比率 50%)を採用。

\*3) E-KDSS (エレクトロキネティックダイナミックサスペンションシステム) はオンロードの走行安定性とオフロードの走破性を高次元で両立させる。ランドクルーザー300 で世界初投入されたシステム。  
ラリー車両では、車両規則に基づく専用マニュアル制御に変更(市販モデルの E-KDSS はオートマチック制御)

### 3.ダカールラリー2024 大会概要

(1)開催期間 2024年1月5日～2024年1月19日

(計15日間、プロローグステージを含む13ステージ)

(2)開催国 サウジアラビア王国 (スタート:アル・ウラ ～ ゴール:ヤンブー)

※各キャンプ地の設定、走行距離などのルート詳細については、未発表 (10月5日現在)

サウジアラビアでの5度目のダカールラリーとなり、プロローグステージを含む13のステージで約5,000kmの競技区間が設定される予定です。

ルートの60%は過去大会で使われていない新設ルートが用意されます。サウジアラビア西海岸を出発し、中央部を経て、アラビア半島南東部に広がるエンプレクオーターと呼ばれる大砂丘地帯を通過し、再び西海岸へ至る時計回りのルートが予定されています。

また、例年設定されてきたメカニックによる整備を受けずに2日間の行程を走り切る、マラソンステージが廃止され、新たに「48Hクロノステージ(※)」が設定されます。



※48Hクロノステージ 合計600kmのエンプレクオーターに設置された競技区間をメカニックによるサポートなしで48時間以内にゴールを目指すステージ

#### 【参考:2023年大会概要】

開催国 サウジアラビア

競技日程 2022年12月31日～2023年1月15日

走行距離 8,902km、(内競技区間 4,317km)

エントリー 総勢353台 (内オート部門 159台)

### 4.参戦カテゴリー

市販車部門にエントリー

オート部門	グループT1	ラリー専用プロトタイプ
	グループT2 (市販車部門)	市販車をベースとしたラリー仕様車
	グループT3	ラリー専用プロトタイプSSV (サイド・バイ・サイド・ビークルと呼ばれる小型2人乗り4輪バギー)
	グループT4	市販SSV
トラック部門	グループT5	
モト部門	2輪バイク	
	1人乗り4輪バギー	

TLC のラリー参戦活動はパートナー企業の皆さまによって支えられています。



世界のくらしに、笑顔を届けたい



**トヨタ車体** 株式会社

〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山 100 番地 TEL.0566-36-2129 [www.toyota-body.co.jp](http://www.toyota-body.co.jp)